

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社 花縁
代表者	大澤 薫
事業所名	小規模多機能ホーム花縁すずらん館
管理者	山口 美貴
実施日	令和 7 年 1 月 22 日
報告日	令和 7 年 3 月 19 日

法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援を理念に掲げ常に利用者の意向やペースを尊重し、利用者本位の支援を心掛けている。 ・認知症の状態にある方の支援に特に力を注いでいる。施設長が認知症介護指導者の資格を持っており職員が悩んだときに相談しやすい環境にある。 ・利用者お一人お一人についてその方の持っている力を発揮できるよう毎月カンファレンスの中で検討している ・食べる楽しみを重視し季節を感じる献立の提供に努めている。月に数回バイキング形式の食事を取り入れたり行事の際には特別な献立とそれに因んだ飾りつけや雰囲気づくりをしたりしている。また、利用者一人一人の口腔状態や嗜好、要望を把握して体調に合わせた食事形態への変更も都度行っている。おやつ時間を設け、時節に合ったおやつを提供したり、一緒に作ったりして楽しく美味しく食べる工夫をしている。 ・コロナウィルス等の感染症対策を行いながら面会や外出の制限を解き、ご家族や地域とのふれあいを大切にしている。 ・キャラバン・メイトが複数人在籍している。近隣の小中学校のキッズサポーター養成講座を担っている。 ・職員の働きやすさを考慮した多様な勤務時間帯の設定や職員一人一人の特性に合わせた指導を実施している。
-----------	---

実施日の出席者	苫小牧市職員	地域包括支援センター職員	町内会役員	民生委員	利用者家族	その他	事業所職員	合計
	1 人	0 人	1 人	1 人	1 人	1 人	2 人	7 人

前回の目標	取組み内容
個々の利用者様のケアプランに掲げている目標を意識しながら、行なったケアとケアプランを照らし合わせてしっかり記録ができるようになる	行なった支援がサービス内容のどれにあたるのか、ケアプランを見て確認し、タブレット上で入力して記録に残すことができる
今回の目標	取組み内容(予定)
・地域とのつながりを大切にするため、近隣で買い物をしたり、町内会等の活動や催しに積極的に参加する	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回、利用者と一緒に近隣の商業施設に買い物に行く ・ときわ町内で開催されているふれあいサロンに参加する ・運営推進会議や回覧板で町内会等の地域の活動を把握して参加する

【設問の評価について】
 ○ : はい
 × : いいえ
 △ : わからない

【地域かかわりシート評価結果】

設問		評価	意見等
自己評価の確認	1 事業所自己評価は、スタッフの意見を反映し実施されているか。	○	・されていると思います
	2 前回の改善目標に対して、具体的な取組みが行われていたか。	○	・タブレットやグループラインの利用などで具体的な取組みを行っているのがわかる
	3 今回の自己評価に対する改善目標が1つ以上立てられているか。 (改善目標の内容について事業所から説明があったか。また、改善目標がない場合は自己評価内容と比べてそれが妥当であるか。)	○	・問題ありません
事業所の様子	4 事業所内や周囲の環境は清潔な状態が保たれているか。 (不快な臭い等はないか)	○	・不快な臭いを感じたことがないです
	5 事業所内は居心地のよい空間になるよう工夫されているか。 (明るさ、装飾、生活音等に配慮がされているか。)	○	・季節ごとに飾り付けが変化して季節感が感じられます ・利用者さんと一緒に作成している壁面飾りは季節感もありとても上手にできています
	6 事業所は訪問しやすい雰囲気になっているか。 (外観的工夫、内部での対応等が適切であるか。)	○	・問題ありません
連携・共同	7 運営推進会議では、事業所の取組みが解りやすく説明されているか。 (資料等はわかりやすいものになっているか。)	○	・説明は分かりやすいです。
	8 運営推進会議で出た意見等を改善につなげているか。	○	・この1年で特に会議の中で改善要請の意見はありませんでしたが、過去には実績があります
	9 事業所は、地域の防災訓練に参加・参画しているか。	○	・町内会の防災訓練には今年度は人間的な都合で参加できませんでしたが参加する意思があるので問題ないと思います。
	10 事業所のスタッフ及び利用者は、地域の行事やイベントに参加しているか。または、参加状況について報告等を受けたことがあるか。	○	・町内会で行った催し物に参加しようと準備をしていたがあいにくの嵐になってしまいあきらめた経緯があり、それは参加の準備までしていたので○で良いと思います ・今後も行われた際には参加する意思があるので○で問題ないと思います
	11 利用者以外のご近所の心配な方に、事業所は関わっているか。	○	・認知症「ほっとカフェ」を行っているが必ずしもこの地域の方が来るわけではない。キッズサポーター養成講座では呼びかけは行っているが今は包括支援センターが周知されて事業所への地域からの相談はほとんどない。今後SNSやHPでいつでもご相談承ることを発信していく。
	12 事業所に対する意見や要望等を伝えやすい関係が構築されているか。	○	・大丈夫です

【その他意見等】

・ボランティアの受け入れやホームページやインスタグラムの活用など良い取り組みだと思うので続けてほしい